

平成26年度上期(平成26年4月～平成26年9月)  
**渡島管内訪日外国人宿泊客数調査**

渡島総合振興局 産業振興部 商工労働観光課

「訪日外国人宿泊客数調査」について

本調査は、道が平成22年2月に制定した「北海道観光入込客数調査要領」(「訪日外国人観光客動態調査」(H9.2月制定)に準ずる)に基づき、各市町村の宿泊施設等における宿泊外国人の「国別宿泊客数」及び「国別宿泊客延数」について、調査を実施しております。

○用語の定義

『訪日外国人』

日本以外の国に居住している者で、訪日の目的が報酬を得ることではない観光客。

『宿泊施設等』

旅館業法に定めるホテル、旅館、簡易宿所及びキャンプ場

1 概況

- (1) 平成26年度上期(平成26年4月～9月、以下同様)に管内を訪れた外国人宿泊客数は約15万2千人で、対前年同期比100.3%、実数にして483人の増加となりました。増加の要因としては、函館－台湾国際定期便を利用する台湾からの観光客が順調なことや、円安による訪日旅行の割安感が引き続き影響していると考えられます。

【外国人宿泊客数】

(単位:人・%)

|      | 平成26年度上期 | 平成25年度上期 | 増減  | 対前年同期比 |
|------|----------|----------|-----|--------|
| 宿泊客数 | 151,611  | 151,128  | 483 | 100.3% |

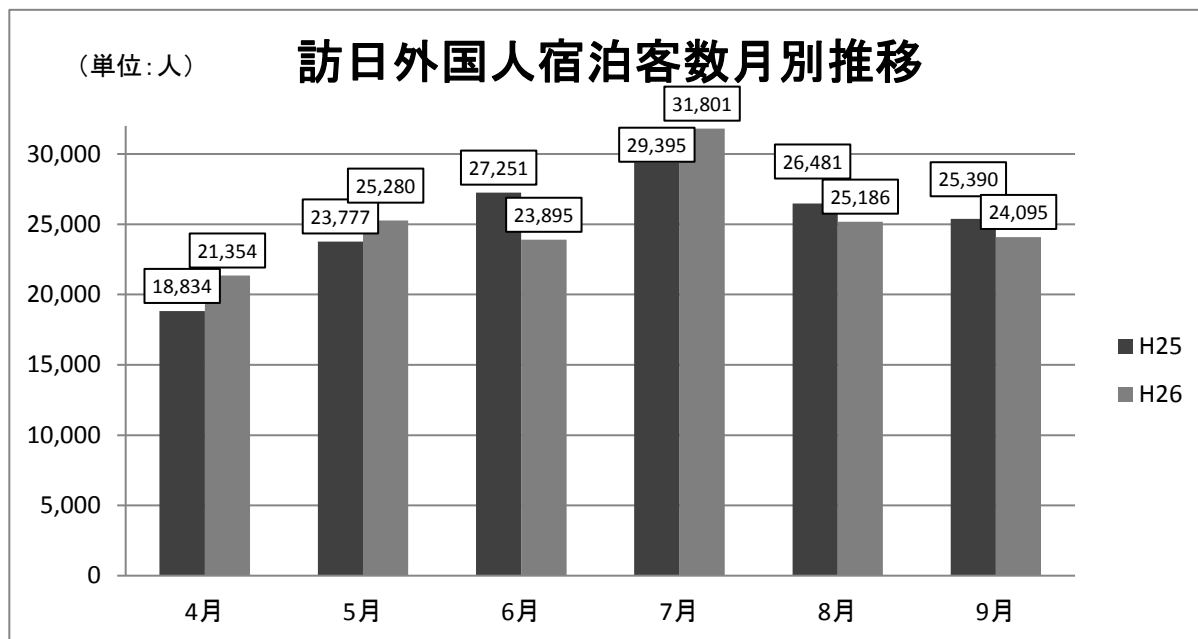
- (2) 国別の宿泊客数では、台湾が対前年同期比100%とほぼ横ばい、中国同263.8%、マレーシア同216.9%と大きな増加となりました。函館－台湾間の国際定期便や、東南アジア5カ国に対する査証緩和の効果と考えられます。一方、韓国同59.9%、香港同58.1%が大幅な減少となっておりますが、宿泊施設を、管内から他地域へ変更したことが主な原因と考えられます。

(単位:人・%)

| 順位                       | 国名     | 平成26年度上期 | 平成25年度上期 | 増減      | 対前年比   |
|--------------------------|--------|----------|----------|---------|--------|
| 1位                       | 台湾     | 105,769  | 105,742  | 27      | 100.0% |
| 2位                       | 中国     | 14,872   | 5,637    | 9,235   | 263.8% |
| 3位                       | 韓国     | 6,289    | 10,506   | ▲ 4,217 | 59.9%  |
| 4位                       | 香港     | 5,389    | 9,272    | ▲ 3,883 | 58.1%  |
| 5位                       | タイ     | 4,795    | 4,420    | 375     | 108.5% |
| 6位                       | シンガポール | 3,603    | 4,238    | ▲ 635   | 85.0%  |
| 7位                       | マレーシア  | 2,162    | 997      | 1,165   | 216.9% |
| 8位                       | アメリカ   | 2,039    | 1,518    | 521     | 134.3% |
| 上記以外の国(オーストラリアなど、その他を除く) |        | 2,939    | 2,299    | 640     | 127.8% |
| 小計                       |        | 147,857  | 144,629  | 3,228   | 102.2% |
| その他                      |        | 3,754    | 6,499    | ▲ 2,745 | 57.8%  |
| 合計                       |        | 151,611  | 151,128  | 483     | 100.3% |

【参考資料】

1 訪日外国人宿泊客数の推移(月別)



2 国別宿泊客数・構成比

